

S T A F F A L P H A R E P O R T

ストップウォッチ STOPWATCH

2016年8月 第26号 定価無料



この夏 絶賛本番中!



イベント ディレクターズ

西葛西に謎のゴーストが出現。2016年4月、ゴースト「ダイラマン」を確実に1年で抜き去るため4名の新入社員たちが入社した。
…今年度話題の新作「ゴーストバスターズ」のオマージュとして話題騒然！

岩寄光 齋藤加奈 服部磨衣子 田中里穂

木戸彩乃 松山創 木村文子 秋吉恭平 知野真依子 松永望咲 下重あきのぶ 大城達也 加納綾衣 大平宏光 堀平和 熊木圭司 大月康弘 菊地のみ
中村真子 中山瑞貴 田村彩奈 石田萌 外川裕将 佐々木優一 齋藤由理 菊地元気 毛利裕一 阪本明裕 富田真吾 安藤裕之 杉浦猛史 松山洋介

2016.8.31 ロードショー？

株式会社スタッフアルファコミュニケーション

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6-9-12 西葛西トーセイビル4F TEL. 03-5674-7837 FAX. 03-5696-6341 <http://www.staff-alpha.co.jp>

※実際に放映される映画ではありません。

今年も新卒採用開催！

当社で毎年最も注力している新卒採用。今年も例年通り実施され、3名の学生が内定を獲得した。今年は就職活動の時期が変更となり、会社説明会にて学生を集めのも難航するなど、スタート時はスケジュール設定など翻弄されながら進めることになった。しかし、この採用活動でも当社のイベント魂が光る。ARコンテンツを使った会社PRや、社員の顔がわかる社内紹介などを用い、たくさんの学生の興味を惹いた。結果、エントリーした学生は約600名。学生にとって熾烈な内定取り合い合戦となつた。当社課長陣や役員も総出で行った選考は、きっと当社の新



青学で地方創世論～代表松山、2年連続でゲスト講師に。

「じゃあ、君答えて」一人の生徒を指名し、その生徒の元へマイクを持って颯爽と近付く。松山先生による、青山学院大学での講義の一場面だ。昨年に引き続き、弊社代表の松山が青山学院大学経営学部の玉木欽也教授の講義にゲスト講師としてお招きいただき、「地方創世」に向けたイベントデザイン」というテーマで講義を行った。どうしたらイベントデザインの魅力が伝わるのか、興味を持ってもらえるのかを試行錯誤した90分の

講義内容に、約200名を超す学生達が熱心に耳を傾けていた。松山は講義の中で使用する教科書の執筆にも参加しており、具体的なイベントデザインの理論から実践プロセスまでを分かりやすく解説。本書は、今後地方創世の担い手となるような、地域リーダーの育成を目指す方や、そういった分野に興味を持ち、将来社会貢献をしたいと考える学生・若者にむけたプロデューサー教本である。興味がある方は、ぜひお手に取ってご一読を。



書籍情報
『地方創生シリーズ第1弾 地方創生に向けた「Global-CEP プロデューサー』』
編著：青山学院大学 玉木欽也
制作：Global-CEP 推進委員会
出版：「青山学院 Hicon×博進堂」プレス
販売価格：3,024円（本体価格2,800円+税）

才気煥発

▽ポケモンGOが国内上陸して1か月が経とうとしている。新宿御苑や世田谷公園やらはかつての穏やかな緑地スペースからイベント会場さながらの様子らしい。最近では上野恩賜公園の不忍池にレアキャラの大量発生が報じられるやがんが怒濤のように押し寄せているらしい。模擬店の営業も土日だけではなく平日夜に拡大され、ある種の経済効果は生まれているようだ。▽一方では駅や道路などの公共

施設や交通網にキャラを発生させないよう当局が主催に呼び掛けていると聞く。確かに歩きスマホを推奨しているこのゲームは様々な物議を醸しているといつてよい。▽スマートフォンの需要は近年急成長を遂げ、もはやデジタルとかアナログとかの分類を超え、多くの生活者の日常に入り込んでいる。我々もビジネスシーンにおいてスマホを利用したコンテンツを無視できないといふことなるといささか残念な気持ちになるのは私だけであろうか。

最新ロボット展示会の総合運営を担当！

新宿高島屋開店20周年記念
「すぐそこの、ミライ暮らしとロボット展」
2016年8月3日(水)～14日(日)

2016年8月。今日、世間では第三次ロボットブームと呼ばれ、日本でも名だたる大手企業がこぞってロボットの発明に注力している。そんな中、当社はこの夏に新宿の地で、ロボットに関する大型案件を担当。会場を新宿高島屋に構えた「すぐそこの、ミライ暮らしとロボット展」である。一般消費者にターゲットを絞ったロボット展示会だ。世間で話題を集めロボット・最新テクノロジー約100体を展示し、近い未来にロボットと共に生活しているシーンを想起させ、それらを体验いただく催しとなっている。

同様の内容、目的の展示会は世間でも過去に例のない取り組みであり、本案件において当社は企画・制作・施工・事務局業務をトータルに運営。



バルーンブランド「B-Wake! BALLOON」再始動！

バルーンの華やかさと柔らかな空間演出を提供します。

B-Wake!
BALLOON

2016年6月、スタッフアルファのバルーンブランド「B-Wake! BALLOON」を新たに再始動した。もともと、期間限定のバルーンショップとしてオープンしていたホームページを、今回、全面リニューアルを行い、「イベント制作会社が運営をするバルーンブランド」としての立ち上げを行った。ブライダルシーンはもとより、過去の実績を活かし、商業施設・イベントでのバルーンディス

プレイを得意とし、現在は店舗におけるバルーン装飾も手掛けている。他社との差別化を図っており、専属バルーンアーティストも所属し、デザインから施工まで全てを受け持つ。ホームページには、過去実績の写真を順次アップしており、事例を参考にイメージを膨らませてもらいたい。子供から大人までもが心躍る魅力のバルーン。バルーンのことなら「B-Wake! BALLOON」にお問合せを。



<http://www.b-wake.com/>

STOPWATCH NEWS & TOPICS

スタッフアルファコミュニケーションの近況を皆様にご紹介いたします。気になる情報をを見つけたらすぐにお問い合わせを。



東北の歴史的建造物のオープニングセレモニーを演出！

2016年7月17日、岩手県盛岡市コンサートの進行・運営をスタッフにて「岩手銀行赤レンガ館」オープニアルファが担当した。セレモニーには、文化庁文化財部参事官や盛岡市長ら来賓が多数訪れ、地元のメディアにも大きくとりあげられた。開業当日はあいにくの雨にも関わらず、多くの地元の方が見学に訪れ、講演会やコンサートは立ち見も含めて約200名のお客様にご来場いただいた。普段は首都圏で開催される案件を中心に扱っている当建築物は、明治44年の完成以来、岩手県金融業の最前線、また盛岡市中心部のランドマークとして盛岡市民の方々に親しまれてきた。そして、平成24年に岩手銀行としての役割を終了し、約3年に及ぶ保存修理を経て一般公開されることとなった。成功させることができ、全社としても大変意味のある案件となつた。

今回は開館を記念してのテープカットセレモニー及び講演会、クラシック



残暑お見舞い申し上げます

今年も本格的な暑さが続いておりますがお取引先様各位におかれましてはご盛業のことと存じます。

さて、スタッフアルファは23期を迎え2016年入社の新人も無事配属が決定しようやく社会の仲間入りを果たしたところです。今後も皆様のお仲間として様々なプロジェクトに参加させていただきます。引き続きよろしくお願いします。

巷ではオリンピックが無事終了、日本は近年まれに見るメダルラッシュで皆様も早朝よりテレビやインターネットのニュースに一喜一憂されていたことでしょう。4年後はいよいよ東京開催です。我々の業界も徐々に多忙を極める状況になってくれるとよいのですが果たしてまだインフラの整備がかかりそうです。国内イベント全般の景気はというとゆっくりといい感じに推移しており、それにつれおかげさまで弊社のイベントクリーも300名を超え、皆様の現場でそれぞれに活躍の場を頂いております。これもひとえに日頃よりお世話になっております各社様のご理解とご愛顧の賜物と、感謝で一杯です。

2016年、スタッフアルファは「脱イベント宣言」を掲げ、イベント制作のみならず様々な販促におけるソリューションカンパニーとして今年度も新たなコンテンツをご提供していく所存でございます。昨年に勝る企業力を誇る組織となれますよう何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。末筆ではございますが各社様のご繁栄と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

スタッフアルファ、新たに顧問参入。

2016年7月より毛利裕一氏が弊社と新たに顧問契約を結びスタッフアルファの強力な助っ人となった。毛利氏は株式会社そごう・西武でテナント本部長、取締役営業政策部長、JR東日本都市開発でSC事業本部副本部長として多くの商業施設の運営管理に携わった。その後、錦糸町ステーションビル「テルミナ」の常務取締役を経てこのたび弊社に顧問として参加する運びとなった。毛利氏は代表松山とは都立墨田川高校の同窓ということもあって後輩に力を貸してくれる形となる。就任に際し以下の通りインタビューにご協力いただいた。

Q1、スタッフアルファを内部から見た感想は？

「松山社長のワンマン色が強いと思っていたが、いろいろな場面で社員からの意見や提案を受ける機会が多く作っており開かれた会社にしようとする意欲が強く感じられた。」

Q2、今のスタッフアルファに足りないもので毛利氏が補強できる「強み」とは？

「社長以下が若いこともあり自分自身が今まで培ってきた経験や知識を提供できることだと思う。いろいろな機会に知恵や経験で業務を手助けしていきたい。」

Q3、今のショッピングセンターの販促における課題について、スタッフアルファが提案していくべきはどんな提案の方向性と思いますか？

「今のショッピングセンターの置かれている立場をよく理解したうえで、戦略を提案すべきである。売上を上げることが最大の目標であるがそのためには売上を構成する要素を理解したうえで一番効果の上がる施策を考えるべきである。もう少し数字をベースにした議論ができるようにしたい。」

尚、同氏は一般社団法人日本ショッピングセンター協会「SC経営士」の認定も取得。氏の参画による弊社の今後の成長にご期待いただきたい。